

月	座布団に坐してこれより月の舟	2013. 3.12	月	月の名を変へて夜毎の月を待つ	2016. 9.27
	降る雪も散る花もなき月夜かな	2014. 3.12		名を変へて夜毎に月を待てりけり	
	ふる雪もちる花もなき月夜かな	2020. 9. 6		名を変へて夜毎に月の新しき	
	ふる雪もちる花もなき月の夜			月の名の夜毎に変わる秋なれや	
	ふる雪もちる花もなき月夜なり			改名に少し時間の掛る月	
	すやすやと草木の眠る月夜かな	2014. 9.11		改名に少し手間取り月上る	
	月の波蟹を拐つて行きにけり	2014. 9.16		立待か居待か熱き珈琲か	
	蓋あけて月の光のオルゴール	2020. 9. 6		珈琲を熱く居待か立待か	
	髪乾くまで月の出を待たせある	2016. 5.18		立待か居待か熱き珈琲を	
	月の出やほろと溢れし崖の土	2016. 5.24		立待か居待か熱き珈琲は	
	月の出にほろと溢れし崖の土			名の変る月を夜毎に待つばかり	
	月の出やほろほろ崖の土こぼれ			名を変へる月を夜毎に待つばかり	
	満月や溢るるものに崖の土	2016. 5.25		改名に少し手間取る月なれど	
	月の出やほろりと落る崖の土			立待か居待か熱き珈琲よ	
	満月や永遠に溢るる崖の土			名を変へて刻を違へて月の出よ	
	月の出やほろと溢るる崖の土			秋なれや月は夜毎に名を変へて	
	満月や永遠に零るる崖の土	2016. 5.26		改名に少し手間取る月の出よ	
	明月はけふ明日はあしたかな	2016. 4. 6		名を変へて刻を違へて月上る	
	明月はけふ明日はあしたなり	2016. 5.25		秋なれや夜毎に月の名がvari	2016. 9.29
	虫籠を闇に沈めて鳴かせをる	2016. 8.28		秋なれや夜毎に変わる月の名も	
	虫籠を闇に沈めて小半時			けふの月あしたの月や日々の月	2018. 1.24
	虫籠を闇に沈めて鳴かすかな			けふの月あしたの月や夜々の月	2019. 1. 9
	虫籠を闇に沈めて良い音色			満ち欠けの欠けを楽しむ月ならむ	2017.11. 8
	虫籠を闇に沈めて月を待つ			満ち欠けの欠けを楽しむ月とこそ	2018. 2. 7
	故郷のおはぎの月を思ひつつ	2016. 9. 7		けふの月あげたる日本大使館	2018. 7.14
	故郷の月のお萩を思ひつつ			静かさや月夜の日本大使館	2020. 9. 3
	故郷の月のおはぎを思ひつつ			小夜更けて月夜の日本大使館	2020. 9. 6
	お日さまの見えなくなればお月さま	2016. 9. 6		真夜中の月夜の日本大使館	
	お日さまが見えなくなればお月さま	2016. 9. 7		働くや月の光を浴びながら	2018. 9.24
	お日さまが見えなくなるとお月さま			来ぬ人を月の光を浴びながら	
	お日さまが遠くに消えてお月さま	2017. 1. 7		待人や月の光を浴びながら	
	夕焼を赤く拵げて月を待つ	2016. 9.27		人待つや月の光を浴びながら	
	夕焼の赤を拵げて月を待つ			屋上に駐車場あり今日の月	2019. 5.18
	月の出を待てぬ夕焼音もなく			スーパーの上に駐車や今日の月	2019. 5.19
	夕焼はもう月の出を待ち切れず			月光や屋上にある駐車場	
	月の出を待てぬ夕焼の赤々と			一駅を歩いて月の僕かな	2020. 8.31
	月の出を待つ夕焼の赤々と			中庭のてらてら光る月の宿	2020. 9. 8
	月の出を待つ間の夕焼赤々と	2016.10. 4		中庭の木のてらてらと月の宿	
	赤々と月の出を待つ夕焼かな	2017. 8. 8			